

iOSデバイスからのsysdiagnoseのキャプチャ

内容

[はじめに](#)

[1. Sysdiagnoseのアクティブ化](#)

[2. 問題を再現し、正常に動作させる](#)

[3. \[分析\]に移動します](#)

[4. オープン分析データ](#)

[5. Sysdiagnoseファイルの検索と選択](#)

[6. ファイルを共有してデバイスに戻す](#)

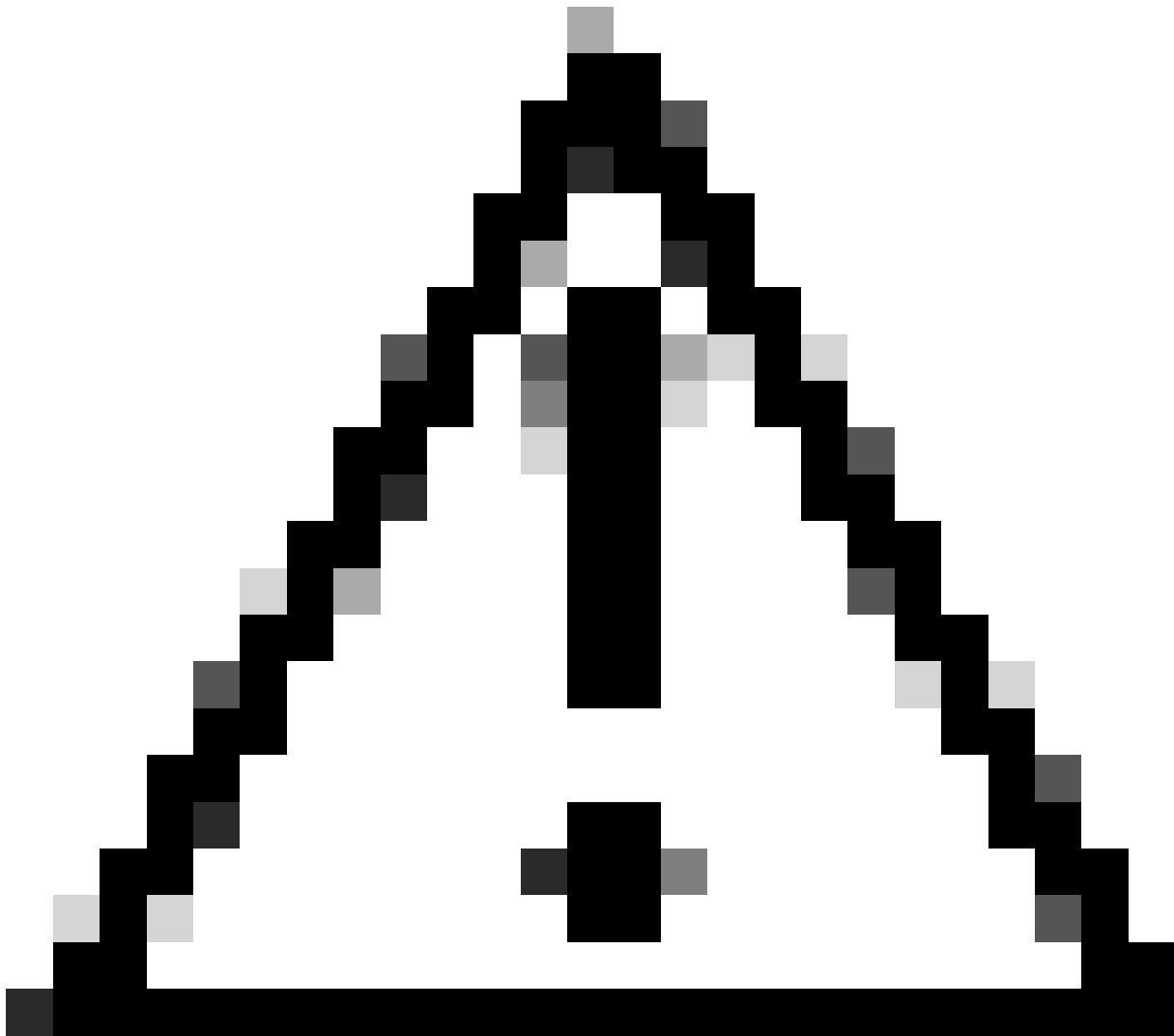
[7. Umbrellaへのファイルのアップロード](#)

はじめに

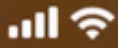
このドキュメントでは、iOSデバイスで特別なsysdiagnoseを実行する手順について説明します。Umbrellaサポート技術者は、iOSの問題をトラブルシューティングするために、これを行うように依頼できます。

1. Sysdiagnoseのアクティブ化

iOSデバイスで、音量アップ、音量ダウン、および電源ボタンを同時に約1.25秒間押します。sysdiagnoseが始まると、小さな振動が発生します（iPadの場合を除く）。



注意：一部のiOSデバイスでは、この組み合わせをずっと長く保持し続けると、SOS緊急サービスコール機能をアクティブにするためのカウントダウンが始まります。SOSアイコンがカウントダウンタイマーに置き換えられている場合は、単にボタンを放します。sysdiagnoseをアクティブにするのに十分な長さがすでに保持されています。



9:41 AM

100% 



slide to power off

SOS

Emergency SOS



Cancel

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。